

イメージ

須崎中央 IC 方向から

県道 388 号線

住宅地

優先駐車場
(駐車台数:4 台)

車寄せ

一般駐車場
(駐車台数:103 台)

駐輪場(駐輪台数:45 台)

パントリー バックヤード

音楽
スタジオ

自習

朗読

ブックモビル

倉庫

事務

静寂

職員駐車場
(駐車台数:10 台)

保育園駐車場

カフェ

会議
スペース

一般開架

児童開架

読み聞かせ

PC 学習

一時預かり

駐輪場
(駐輪台数:35 台)

キッズパーク

底

『大きなひろば』

緊急避難場所(高台)へ

緊急避難場所(高台)へ

住宅地

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

シンボルロードから

配置計画の基本的な考え方

POINT.1 アプローチ

多方向のアプローチ → ひろばで迎える
・シンボルロード側からの人の流れと、須崎中央 IC からの車の流れ
・敷地内には連続した「大きな広場」が各方向からのアプローチに対して迎える配置

POINT.2 ひろば

寺尾児童公園との関係 → 一体的な整備(大きなひろば)
・敷地と隣接した「都市公園」に位置付けられている公園の再整備
・要求で求められているひろば空間と公園を一体的に整備した柔軟なひろば

日常使いとイベント利用

・日常的な賑わいづくりと様々なイベントに対応する設え



POINT.3 安心・安全

車と人の動線整理 → 歩者分離の徹底
・多くの来館者が車で訪れることを想定
・西側 1 個所に車の出入りを集約
有事の避難 → 全方位への避難路の確保
・わかりやすく、どこにいても、城山への動線が避難しやすい経路
・わかりやすく、避難しやすい

POINT.4 近隣への配慮

近隣へのプライバシー → 北東コンパクト配置
・西、南、東に取り巻く近隣住宅
・北東コンパクト配置で、住宅と建物の間に大きなひろばを確保

視線の見合い

・視線を制御するランドスケープ
・近隣住民への配慮
・植栽やマウンドで視線を制御

凡例

- ▶ 利用者メイン出入口
- ▷ 利用者サブ出入口
- ▶ 職員メイン入口
- ▷ BM 出入口

- 歩行者動線
- 車両動線
- 避難動線

- 利用者エリア
- 職員エリア
- EV 職員用エレベーター

シンボルロードから